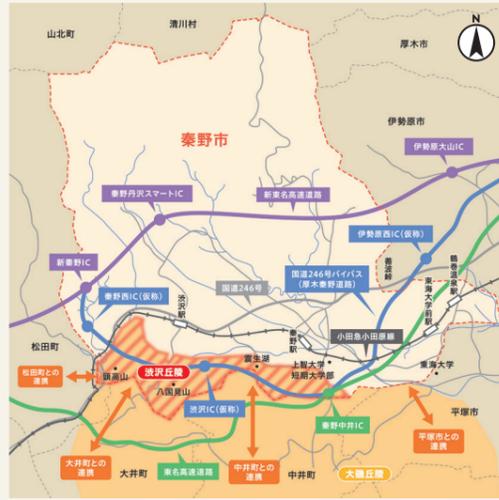


渋沢丘陵 利活用方針

～小田急線4駅周辺のにぎわい創造に向けて～

【コンセプト】

豊かなみどりに包まれ、
人と自然が調和した
ウェルネスな日常の創造



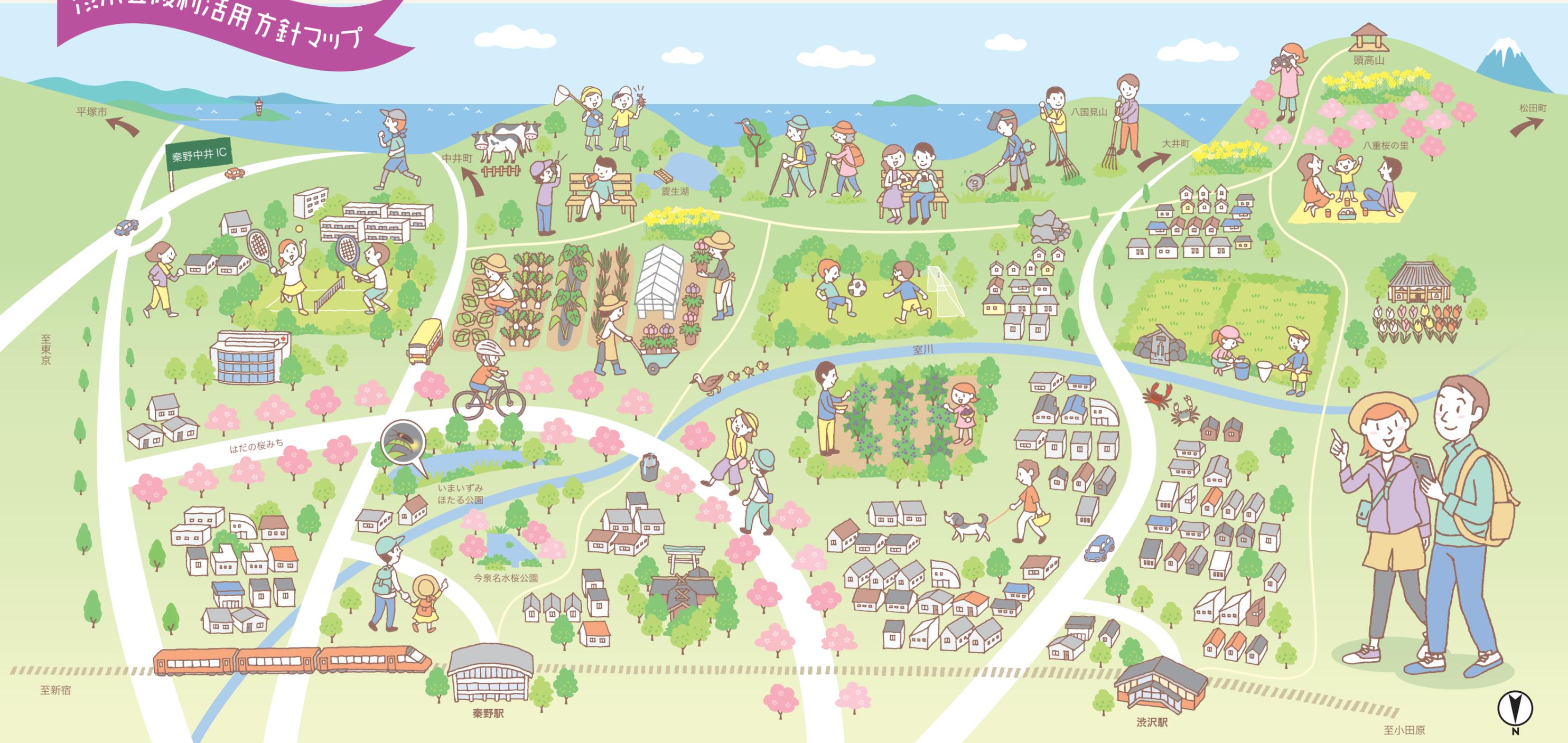
●渋沢丘陵とは
本方針では、大磯丘陵の北端にあたる本市の南側に位置する標高 200m程度のなだらかな丘陵とその周辺を「渋沢丘陵」とします。

●こんな渋沢丘陵を目指します
渋沢丘陵の最大の魅力は、豊かな自然環境と様々な地域資源が秦野駅や渋沢駅周辺をはじめとした市街地からほど近い距離にあるという意外性にあります。ごく身近にある澄んだ空気や美しい木々、草花、水辺といった気持ちを穏やかにする豊かな自然のほか、利便性と快適性を兼ね備えた閑静な住宅街、富士山や丹沢の雄大な山々を一望できる眺望など、多様な魅力を持つ地域資源を守り、磨き上げることで、渋沢丘陵が子どもから高齢者まで幅広い世代がより楽しみ、憩い、訪れる場所となることを目指して利活用を進めていきます。

●渋沢丘陵で取り組む「5つの基本的な方針」

方針① 自然環境の維持・保全	次世代に残していくべき豊かな自然環境を生物多様性にも配慮しつつ、継続的な森林里山の整備などに取り組み、適切に維持・保全することにより、豊かで快適な環境を創出します。
方針② 安全・安心で快適な施設・設備	幅広い世代の方々が安全・安心で快適に過ごせるように案内看板やトイレ、休憩場所、駐車場等の整備に加え、多様なニーズにも対応するため、活用しきれていない施設や耕作放棄地などの有効活用に取り組みます。
方針③ 市民の憩いの場となる利活用	秦野駅や渋沢駅周辺をはじめとした市街地から近く、市民の憩いの場として気軽に訪れることができる環境を生かし、ウォーキングや森林セラピー体験などを通じて日常的に市民の健康づくりや癒し、交流に役立てるような場づくりに取り組みます。
方針④ 地域特性や資源を生かした新たな価値創出	地域にある次世代に受け継ぐべき歴史や文化、伝統、技術を掘り起こすほか、収穫体験や産品直売などを生かしながら、渋沢丘陵でなければ体験できないコンテンツの開発に取り組むことで、市外からの来訪者のニーズにも応えられる価値を創出します。
方針⑤ 戦略的な情報発信	渋沢丘陵の多彩な魅力とコンセプトを市内外に広く発信するため、各種メディアへの積極的な情報提供をはじめ、地域情報紙・フリーペーパーなどの連携、ウェブサイトやSNSの活用など、戦略的かつ包括的な情報発信に取り組みます。

渋沢丘陵利活用方針マップ



至東京

至新宿

至小田原

